

広報うちこ

UCHIKO

10

October 2020
vol.276

あなたとまちをつなぐ
ふるさと情報誌



●特集

これも空き家の生きる道

ぼくの夢 わたしの夢

西野 ^{みさき}美咲さん 天神小学校6年(柿原)

憧れの理学療法士さんのように 関わった患者さんを笑顔にしたい

休みの日は祖母と過ごすことが多く、一緒に畑で作業をしたり、動物のえさやりをしたりしていました。楽しくて、優しい祖母が大好きです。祖母は私が4年生の時、突然倒れて寝たきりになってしまいました。入院中、体が固まらないよう、手や足を動かして、リハビリをしてくれている人がいました。重い体を動かし、手足も固くて大変そうでしたが、少しずつ回復していくところを見て、すごいと感動したのを覚えています。それが理学療法士の仕事だと知り、憧れるようになりました。

私は将来、理学療法士になりたいです。祖母の笑顔を増やしてくれた理学療法士さんのように、私と関わった患者さんにたくさん笑顔になってほしいと思います。早く元通り動くようリハビリを手伝って、祖母のような寝たきりの人の体を少しでも楽になるようにしてあげたいです。



CONTENTS 目次

UCHIKO vol.276

広報うちこ 2020年10月号

- 2 ぼくの夢 わたしの夢／目次
- 3 特集1 これも空き家の生きる道
- 12 うちこ往来 朝の森ウォーク／道路功労者表彰／愛媛FCマッチタウン 他
- 14 特集2 内子高校・創立100周年記念体育祭
- 18 みんなのひろば
リレーエッセイ／はじめてのバースデー／人☆キラリ／HELLO!!! 他
- 22 図書館へ行こう
- 23 ゆうていあ Vol.234
- 24 町からのお知らせ 保健師・調理師の正職員募集／成人式のご案内 他
- 26 暮らしの情報 インフルエンザ予防接種の助成／櫛染ストールづくり 他
- 29 社協だより Vol. 3 赤い羽根共同募金
- 30 健康カレンダー／お元気ですか／人のうごき／相談／当番医
- 32 住人十色

COVER

—— 表紙の写真 ——



●最近、若者が増えてきたと話題になっている小田地域。写真の「どい書店」を活動拠点とする地域おこし協力隊・岡山紘明さんの周りにはいつもにぎやかです。写真家や映像作家、シンガーソングライターなど、クリエイティブな仲間が集まり、情報発信などで地域にも貢献しています。

今月号は空き家について考える特集。「どい書店」のことも紹介しているので、ぜひご覧ください。



「管理が大変やけん、早く借り手が見つかってほしい」。そう話すのは古民家の所有者。宇和島市から月数回、建物の掃除などをしに内子町に通っていますが、建物の利活用をしたいと「空き家バンク」にこの物件を登録しました。

新型コロナウイルス感染拡大を機に、地域移住への関心がさらに高まっている今、所有する空き家を貸したり売ったりすることも選択肢の一つになると考えます。大切な家がずっと大切なモノであるために、空き家が持つ可能性と向き合ってみませんか。

◎特集1

これも空き家の生きる道

今、空き家と向き合う

空き家は大切な地域資源。生かすことで過疎地域などへの移住・定住を促進し、住み続けられる内子町を目指します。

空き家の現状

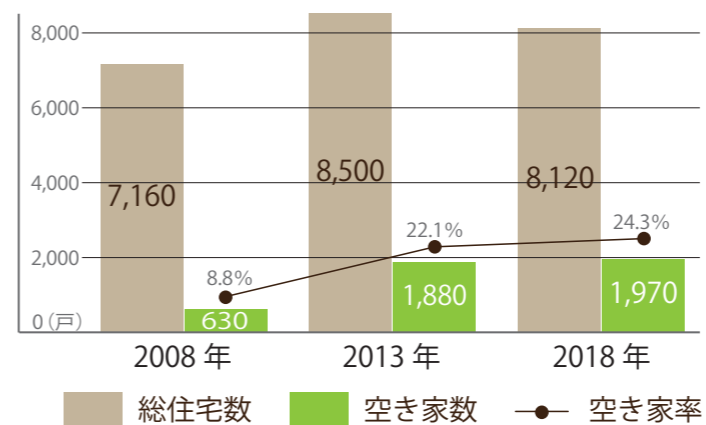
内閣府が6月に公表した調査では、東京23区に住む20代のうち、地方移住に関心を持つ人は35・4割という結果が出ています。コロナ禍で都市部での生活や働き方が見直され、テレワークの導入が進んだことが背景にあるようです。一方で、住宅・土地統計調査の結果から空き家が年々増えていることが分かります。

現状の課題は、空き家は増えているけれど、活用されるものが増えたり、活用されないということがあります。相続や家財道具、改修費など理由はさまざまですが、空き家になると傷みが早くなり、管理も大変です。放置して老朽化が進むと防災、防犯上の危険性や環境への悪影響を及ぼすなど、負の遺産になってしまうかもしれません。



総務課 定住促進係
室岡 康平さん

内子町の空き家の現状（住宅・土地統計調査）



利活用なら「空き家バンク」

空き家バンクとは、住まなくなった家を売買物件や賃貸物件として町のホームページで紹介し、「売りたい・貸したい人」と「買いたい・借りたい人」のマッチングを支援する制度です。空き家は移住者の受け皿として上手に活用すれば、町の資源になると考えています。しかし現在、空き家バンクの登録数は25棟。募集中の物件は6棟だけです。

内子町ホームページの「空き家バンク物件一覧」の閲覧者数は、昨年



移住に必要な情報がいっぱい。移住定住支援サイト「うちこんかい」へ



3〜10月が2570回だったのに対し、今年の同時期では4950回と、ほぼ倍になっています。空き家を所有する皆さんにとってはその活用を検討する絶好の機会になっていると思います。

内子町ではより良い空き家の活用や移住を支援するため、平成29年に移住者50人を対象にアンケートを実施しました。その結果を受けて、もっと情報を整理して発信できるように内子町移住定住支援サイト「うちこんかい」を立ち上げました。物件情報だけでなく子育てや仕事の情報をまとめているので、うまく活用してほしいです。

大切な家だからこそ

担当者として、この町を気に入って暮らしたいという人を増やしたいと考えています。田舎暮らしに憧れて内子町に来てくれる人に対して、住む場所だけでなく、仕事のことや地域での暮らしのことなど、町の実情をきちんと伝えることで、長く住んでほしいと思っています。空き家所有者の皆さんにとっても、思いが詰まっている家を大切に使うよう頑張りますので、空き家バンクなどの活用にご協力ください。



YATSUGIの「オンソウジダイサクセン」

空き家になった町家の清掃、残遺物整理の補助、一部の修繕などを行っています。所有者にも参加してもらい、建物の歴史などについて情報を共有するようにしています。毎回10～20人くらいが集まり、楽しみながら掃除しているそうです。昔の写真や道具など面白いものが出てくると、掃除の手が止まってしまうそうですが、それも一つの楽しみ——。昨年度は16回の清掃活動に延べ195人が参加しました。



YATSUGIの活動で生まれ変わった空き家

1_「はたご屋霧中」^{むちゅう}。築100年以上といわれる町家を改修し、ゲストハウスとして活用している。古さの魅力を最大限に引き出している 2_同じ町家をシェアしたドライフラワー店「花の白々」。おしゃれなブーケやリースが並ぶ 3_元文房具店の商品棚を上手に使って商品を陳列 4_カフェにもなっている「はたご屋霧中」。パティシエが作るスコーンが絶品



ントで使い、利用希望者に情報発信もしています。建物の使い方が目に見えるので、空き家を見直す人が増えました。理事長の三瀬さんは「きれいに片付くと活用のイメージが湧いてくる。貸す側も借りる側も、町家を使うことに前向きになってくれるのがいい」と、その効果を実感しています。

多くの空き家が活用されるようになりましたが、二人は「こんなに長く続くとは思わなかった」と口をそろえます。「仲間と一緒に、できることから始めたけれど、町家が一つでも多く残った方がいいと思っていて」と久世さん。今は所有者や利用者との信頼関係を築けたことで、どう生かしていくかを一緒に相談できるようになりました。メンバーの一人は「若い人たちが頑張っている姿を見て、未来につながるいい活動だと思った。琴や着物を教えているので、そういうのが似合う町になってほしい」と夢を語ります。

「自分たちの取り組みが実を結んできた」と笑顔で語り合うメンバーの皆さん。磨き続けてきた空き家は地域の宝となり、多くの人たちの夢をかなえてくれる、すてきな場所になっています。



明治時代に建築されたと伝わる今岡邸。「YATSUGI」の活動拠点として、地域の人や移住希望者などが集まれる場となっている

隣町のすごい若者たちに学ぶ、空き家の生かし方

町家をつなぐ「YATSUGI」

大洲市の

「町家を残したい」という数人の思いから始まった小さな活動。重ねるごとに輪が広がりはじめ、これまで15棟を清掃し、参加者は延べ300人を越えました。空き家だった町家はゲストハウスや店舗になり、大洲市肱南地区の町並みに新しい風を吹き込んでいます。

町家の歴史を未来につなぐ活動
磨き続けているのは地域の宝



NPO法人YATSUGI
理事長 三瀬 範芳さん(右)
事務局員 久世 雄也さん

大洲市肱南地区で活動する「NPO法人YATSUGI」。町家を次の時代につなぎたいと平成29年5月に活動を始めました。事務局員の久世さんは「何百年と続いていた町家の歴史が、ここ数十年で壊されそうとしている。大切な町家を残すために、所有者と利用者の間をつなぐ役割を果たしたかった」と思いを語ります。

活動は情報収集に始まり、空き家になった町家の清掃や修繕をする「オンソウジダイサクセン」や、修繕に必要な技術を学ぶワークショップなど。活用につなげるため、きれいにした場所をイベ

生かす選択をした人たち

誰も住まなくなった空き家を、必要としている人たちがいます。空き家バンクなどを通じて愛媛県外から移住してきた人たちに、空き家探しのことや、今の暮らし方などについて聞きました。

理想に近い暮らし方を 田舎の空き家で実現

匿名希望 R・Tさん || 北表 ||



東日本震災が起こり、お金よりも生きるすべを持ちたいと思うようになりました。理想的な暮らし方を探そうと東京都から長野県に移りましたが、気に入った物件は改修費が高かったり、突然取り壊されたりと、縁がなかったようです。



1「ジブリ映画の世界みたい」と気に入った家。築70年ほどの建物は意匠が細かく、大工のこだわりが感じられる 2 風呂とストーブはまきが燃料。まき割りやチェーンソーでの倒木など、初めての体験ばかり 3 昨年からは始めたキュウリ栽培。朝4時からの収穫や水やりなど、「むちゃくちゃ大変だけど楽しい」と笑顔 4 畑の散水用に、自分で山水を引いた

長野を諦めて全国に目を向けたとき、内子町の空き家バンクでかわいい物件を発見。旅行がてら内子町を訪ねると、地域の人たちが優しく迎えてくれて、土地柄も空き家家もとても気に入りました。しかし、「ここにしよう」と決めた頃、所有者が亡くなり相続関係で契約が難しくなっていました。そのとき力を貸してくれたのも地域の人の人でした。結局、引越すまで2年くらい掛かったけれど、信じて待つてよかったです。他に大変だったのは、水回りを直すこと。町の補助金はあるけれど、高額な改修費を一旦は全額支払う必要があるのです。若い世代が移住するときには一つのハードルになると感じました。

田舎暮らしは草刈りしたり、まきを割って風呂を炊いたり、畑仕事をしたりと意外と忙しく、全然時間が足りません。でも庭で野菜を作れるし、すぐ近くに野草や山菜もある。地域の人にイノシシのさばき方も教えてもらい、最初に考えていた「生きる力」が付いてきたと感じています。やりたいこともどんどん増えて、今とても充実しています。

すてきな家との出会い ふるさとの縁に感謝

井上 佳子さん || 徳積 ||

夫婦ともども愛媛県出身で、主人は内子町生まれです。二十数年前は五十崎で暮らしていたこともあり、三重県津市で長らく暮らしていましたが、親の介護をするため、定年後に帰郷することになりました。最初は自分で店舗兼住宅を



1_倉庫を改修した佳子さんの作業場で。(左から)佳子さん、洋一さん、昌枝さん 2_村前地区の住居。「店まで車で15分かかるけれど、その道のりも楽しい」と話す佳子さん 3_内子商店街に開いたケーキ屋「金の羽」 4_村前地区の農家さんが生産したシャインマスカットなどをぜいたくに使ったシフォンケーキ 5_ケーキを作る昌枝さん。ふわふわのバターシフォンケーキが人気



探していました。なかなか見つかりません。そこで空き家バンクに問い合わせたら、村前地区の物件を紹介してもらいました。住宅のみでしたが一目で気に入りました。決め手は自由にリフォームできることと豊かな自然。桜やアジサイ、ホタル、柿など、四季折々の景色がすてきです。行事は多いですが、地域の人たちにいろいろと助けてもらい、安心感につながっています。大変だったのは、契約してから建物の傷みのひどさに気付いたことくらいです。結局、全面をリフォームしたので、とても快適です。併せて貸してもらった倉庫は、主人が約1カ月かけて改修してくれました。今は私の趣味の部屋です。大好きな音楽を聴きながら、ツールペイントや裁縫を楽しんでいます。

娘がパティシエで、内子商店街で空き店舗を借りてケーキ屋も開いています。内子座に近い、いい物件です。所有者が主人の同級生だったこともあり、ここも自由に改修してもらいました。店のデザインは娘と考え、一緒に夢を実現することができました。住居も店もいい縁があり、有難く思っています。

補助 内子町移住者 住宅改修支援事業

—R・Tさんと井上さんも補助金を活用して空き家を改修しました—

住宅の改修	
働き手世帯	子育て世帯
補助率：経費の2/3	補助率：経費の2/3
限度額：200万円	限度額：400万円
愛媛県内の市町からの移住者	
補助率：経費の1/3	補助率：経費の1/3
限度額：100万円	限度額：200万円

- 対象者**
- ▶働き手世帯 1人以上が60歳未満の世帯
 - ▶子育て世帯 中学生以下の子どもがいる世帯
 - ※ただし5年以上居住することが条件です。
- 対象住宅**
- ▶内子空き家バンクに登録した物件(愛媛県版でも可)
 - ▶一戸建て住宅で、移住者に改修を行う権限があること

空き家の大家さんと地域おこし協力隊が起こした小さな奇跡

生かせば変わる 地域の未来

かつて地域で唯一の書店として親しまれていた「土居書店」。約10年前に閉店し、しばらく空き家の状態が続いていました。昨年4月に地域おこし協力隊に着任した岡山さんが、その建物を借りて本を売らない本屋「どい書店」として活動を開始。さまざまなアイデアでにぎわいを生み、小田地域に移住したいという若者も増えたそうです。小さな奇跡とも呼べる出来事は、空き家に詰まった大きな可能性を感じさせてくれます——。



どい書店の初期メンバー。(左から)水本誠時さん、烏谷恒希さん、岡山さん



地域おこし協力隊
岡山 紘明さん=小田下=

「土居書店」から「どい書店」へ
「田舎らしい暮らしをしたい」と元地域おこし協力隊の山内大輔さんに相談したら、この土居書店を紹介してもらいました。建物の雰囲気と大家さんの優しさに魅了され、ここに住もうと決めました。大きな建物だから最初はゲストハウスをイメージしましたが、そこまで整備するには時間が掛かりそうなので、できることから始めようとシェアハウスにしました。ちょうど、同年代の知り合いが活動拠点を探していて、共同生活をするのとに——。名前も「どい(どい書店)」に決定。写真家や映像作家などクリエイティブな仲間が集まったことで、地域の魅力や「どい書店」の活動を発信することができています。活動がきっかけで、小田に暮らしたいという若者も増えました。周りの空

家は5棟も使われ始め、地域活性化の事例の一つになっています。

空き家を生かすために

SNSなどで相談してくる人もあり、自然と空き家を紹介する受け皿になりました。「どい書店」も空き家を活用していることで、所有者や利用希望者にもイメージが伝わり、説得力につながっています。そんな中で感じているのは、所有者と利用者との間に、信頼してもらええる中間組織があることの大切さです。大洲市の「YATSUGI」の活動にも時々参加して、いいところを参考にしながら、自分たちの地域に合う形を見つけないかと考えています。

円滑に空き家を利活用するためには大家さんとの信頼関係が大切ですが、移住希望者がすぐに大家さんに信頼されるのは難しいことです。私が両者の思いを伝えられる立場になればいいなと思っています。移住者のための受け入れ態勢もつくって、いろいろな情報を提供しながら町の人のつながりが持てる環境を整えたいです。

空き家の所有者の皆さんに



不定期に開かれるイベントも人気



勉強会には若者を中心に多くの人が参加



小学生が勉強しにくる新たな光景も日常に

は、建物内の物を減らしてほしいということ。土居書店はかなり整理されていましたが、それでも住んでから約2ヶ月の間、片付けだけで数カ月掛かりました。その負担が減るだけでも、借りる側が前向きになれると思います。

広がる可能性

私の地域おこし協力隊としての活動目的は「若者が暮らしやすい田舎づくり」です。活動拠点となる「どい書店」は、来た人に地元を感じてもらえる、おもてなしの場所にしたと思っています。建物は文化的価値を損なわないよう、ほとんど元のまま使っています。家具やのれん、畳、障子紙などは内子町のものを使って新しくしました。

しばらく空き家だった土居書店ですが、人が住むことで息を吹き返しました。次はここを喫茶店にして、さらに人が集まる場所にしたと考えています。この活用や活動を見て、若者や空き家の所有者の皆さんに可能性を感じてもらえたら、うれしいです。ぜひ一度、遊びに来てみてください。

空き家に関する相談をお待ちしています

住まなくなった家を、貸したり売ったりすることに関心はありませんか。大切な思い出が詰まった家を必要とする人につなぎ、大切に使うことが家や地域の元気につながるかもしれません。傷みがひどく危険な場合は、除却する費用の補助もあります。空き家があるという情報だけでもいいので、ぜひ一度ご相談ください。

【問い合わせ】 総務課 移住・定住促進係
☎0893(44)6151



募集

Interview

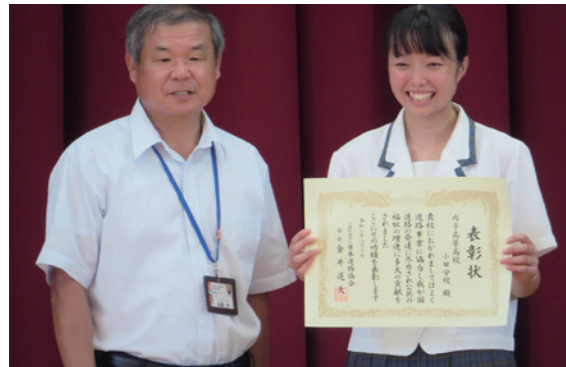


松尾 頼子さん
=小田下=

大切にしていた空き家が、いい人に巡り合ってうれしい

元土居書店だった隣の家を購入しましたが、壊すのにもかなりの費用が掛かります。何もしないのもったいないので、地元の人たちともたきをしたり、町が少しでも元気になればと、ひな人形や五月人形を飾ったりしていました。普段の管理は大変で、掃除は毎日1~2時間かけてしていました。何とか残してきたけれど、東京から若い

人が来て使ってくれるなんて、不思議な巡り合わせだと思います。周りに空き家が増えていたので、人がいると安心だし、生活にも張りが出ました。毎日の管理がなくなり肩の荷も下りました。岡山さんは、今度は喫茶を開きたいとのこと——。小田を良くしようと頑張ってくれているので、できる限り応援したいと思います。



上) 伝達式の出席者(左から)片上所長、宮岡さん、高岡健一さん、政岡和猶建設デザイン課長 下) 大洲土木事務所事業管理課長兵頭 充さん(左)と松森さん

長年の清掃美化活動に感謝して、 富長ボランティアの会と小田分校に表彰状

長年にわたり道路の清掃美化活動に尽力した個人や団体を顕彰する「道路功労者表彰」(㈱日本道路協会主催)が行われ、富長ボランティアの会(宮岡健二会長)と内子高等学校小田分校が受賞しました。8月24日には内子町役場、26日には小田分校で伝達式が行われ、大洲土木事務所長の片上靖さんから表彰状が手渡されました。

富長ボランティアの会は平成10年頃、宮岡さんが発起人となり活動を開始。現在は約40人の会員が、石浦地区や国道379号の清掃をしているほか、川ツツジの植栽や花壇づくりなどを行っています。宮岡さんは「みんなで協力して続けてきたのでうれしい。受賞を励みに、活動が変わらず続けられるよう頑張りたい」と話しました。

小田分校は20年間、毎年2年生が学校行事の一環で国道380号の除草やごみ拾い、ガードレールや橋の清掃などを行っています。代表の松森美羽さん(3年)は「活動を続けてきた先輩たちと、私たちが温かく見守ってくれる地域の人たちに感謝の気持ちでいっぱい。この良き伝統が続くことを願います」と笑顔で話しました。



試合会場のイベント広場に凧あげ体験スペースを設置

上昇気流に乗ることを願って凧あげ—— 年に一度の愛媛FC・マッチタウンゲーム

愛媛FCのマッチタウンゲームが9月12日、ニンジニアスタジアム(松山市)で行われました。今年は小学生のエスコートキッズなどは実施されませんでした。内子町のPRブースを設置し、凧あげ体験や凧・うちわの販売などをしました。試合前には道の駅から「じゃからサイダー」、せせらぎから「小田の里ひしお」を記念品として贈呈し、会場を盛り上げました。



川や水車の音を聞きながらのヨガでリフレッシュ

疲れた心と体が喜ぶヨガ体験 「石畳・里山ヨガトリート」

内子の自然を感じながらヨガを体験できる「石畳・里山ヨガトリート」(内子町観光協会主催)が9月12・13の両日、石畳清流園などで行われました。参加した6人はヨガ体験をした後、石畳の宿で食事をして宿泊するなど、特別な非日常を味わいました。インストラクターの佐々木美智子さんは「風や自然の音が心地よかった。参加者も内子に癒されたと喜んで」と声を弾ませました。

文楽の魅力と歴史に触れる 「内子座文楽ポスター移動展」が開催中

「内子座文楽ポスター移動展」が8月20日、内子座から始まり町内7カ所を巡ります。(11月22日まで。広報うちこ8月号参照)毎年8月に開かれる内子座文楽が中止となったため、より内子座文楽への関心が高まればと企画された展示会です。公演ポスターや明治時代の浄瑠璃本などが展示されている他、吉田和生さんなど6人の出演者から寄せられたメッセージなども並んでいます。



地域に巡回した際は、ぜひ足を運んでみてください

気持ちのいい朝を小田深山で—— 散策と朝食と新鮮な空気を楽しむ新企画

「朝の森ウォーク」が8月22、23、29の3日間、小田深山で行われました。延べ67人が参加し、やわらかな日差しと川のせせらぎを楽しみながら、約3kmのコースを歩きました。コースの途中には「森カフェ」が用意され、湧き水で沸かしたコーヒーと朝食セットを味わいます。大野理園さん(9)=松前町=は「歩いた後に森で食べるご飯はおいしい」と目を輝かせていました。



体験してほしい、目覚めたばかりの森を歩く気持ちよさ

古き良き時代の観劇を体験しよう 内子座でサイレント映画まつり

「内子座サイレント映画まつり」が9月1日から11月13日の間、内子座で行われています。サイレント映画は音声が入っていない映像を流し、その横で活動弁士がナレーションを入れます。土日・祝日は劇団オーガンスの団員が活動弁士となり、映画の中の世界を臨場感たっぷりに表現します。この日は『ドタバタ撮影所』と『己が罪作兵衛』が上演され、一味違う舞台を作っていました。



映像に合わせてセリフなどを入れる団員

地域の元気づくりに宝くじが貢献 寺村自治会に「コミュニティ助成事業」

(一)自治総合センターでは宝くじによる社会貢献の一環で、コミュニティ助成事業を行っています。今年度、内子町では寺村自治会が助成を受け、自治会活動に使う司会台や音響設備、プロジェクター、スクリーンなどを購入しました。同自治会長の崎本修一さんは「備品が整備され、『唄と踊りの発表会』などの行事がスムーズに行える。大切に使用したい」と話しました。



宝くじ助成を活用してそろえた寺村自治会の設備一式



特集2 笑って叫んで完全燃焼
**創立100周年
記念体育祭**

創立100周年を迎えた内子高等学校で9月5日、創立100周年記念体育祭(以下、体育祭)が行われました。コロナ禍の影響で競技の見直しや準備期間の短縮など、多くの制約の中、生徒と教員304人が力を合わせて作り上げた体育祭の様子を紹介します。





周年事業推進室長
徳本 隆浩さん

100周年事業の成功で
母校の飛躍を願う

私も昭和59年に内子高校を卒業しました。母校に何か恩返しができたらと、10年前から100周年事業に関りたいと思っていました。その夢がかない、周年事業推進室長をしています。

体育祭では美術部の顧問として装飾担当になりました。生徒たちがパネルのモチーフに選んだのは麒麟。泰平の世に現れるという伝説の動物です。「みんなの力を合わせることで幸せを呼び寄せたい」という気持ちを込めています。わずかな期間で仕上げるため、3グループが協力して一つの絵を描き上げました。休みの日に作業をする生徒もいて大変だったけれど、笑顔で頑張ってくれました。みんなで乗り越えたことで心も一つになれたと思います。私も高校時代、3年間装飾を担当しました。私と同じように、絶対に忘れられない思い出になればうれしいです。

装飾だけでなく、応援合戦や競技も100周年を意識した良いものになりました。コロナ禍という不測の事態が起こる中、最大限の努力と工夫で新しいスタートが切れました。何が起こるか分からない未来だからこそ、変わらなければいけないこともあると、生徒たちも学べたと思います。残りの100周年事業も成功させて、内子高校のさらなる発展へとつなげたいです。



スクールカラーの青を基調とした創立100周年記念事業のシンボルマーク

体育祭に向けて準備する生徒たち



紅龍グループ長
中野 好清さん

支え合いながら、よりいい体育祭に

練習期間が少なくても、昨年より良いものを作りたいという思いで取り組んできました。部活動でキャプテンをしていたときより、ずっと人数が多くて、まとめるのが難しかったです。声も通らないし、気持ちも伝わりにくいと感じました。悩んだときは、団長や副グループ長が相談に乗ってくれて、心強かったです。優勝はできなかったけれど、みんなで最後まで楽しんでやり遂げることができてよかったです。

仲間の言葉で気付いた分かり合う大切さ

一番頑張った応援合戦で優勝できました。記念の年にみんなで完全燃焼して優勝したことは最高の思い出です。練習中はうまくいかなくて、強い口調になったこともありました。仲間から「楽しくやろうよ」と言われて、熱くなり過ぎたことに気付かされました。この経験から、まとめ役はみんなことをよく見て、理解し合いながら進めることが大切だと学びました。仲間感謝して、将来に生かしていきたいです。



白鷲グループ長
中田 秀敏さん



龍群グループ長
都築 翔さん

みんなで楽しんでつかった総合優勝

リーダーになるのは人生で初めての経験でした。始めは、大人数の前だと緊張して、どうしたらいいのか悩むこともありましたが、でも怒らず、優しく伝えるように心掛けていました。友達からは「甘く見られるよ」と心配されましたが、みんな協力的ですごく助けてもらいました。後輩も気軽に相談してくれて、うれしかったです。自分たちらしく楽しくやろうと頑張ってきて、総合優勝できたので、すごく幸せです。



新しい体育祭が、次の100年の始まりに

100周年という節目の年。コロナ禍という状況が重なったことで、より一層の結束につながって、大成功に終わった体育祭。その裏には短い練習期間でたくさんの苦労がありました。グループ長や先生の話からは、苦労の先にある達成感や喜びが伝わります。

生徒たちの成長がうれしい。
みんなの頑張りが、
次の100年につながる。

内子高校100周年を迎えた今年、体育祭の担当をすることになりました。大変な役割を任せてもらい、盛り上げようと企画を練っていたところ、コロナ禍になってしまいました。先生の中には「こんな状況で体育祭はしなくてもいいのでは」という意見もありました。でも、生徒にとつたら一番の思い出になる行事だと思いい、先生たちを説得して開催することになりました。ただしコロナ対策のため、体育の授業時間だけで準備をすることにしました。

一番大変だったのはグループ長の3人だと思います。毎朝8時に集まって私と打ち合わせをして、進捗状況などを確認しながら、その日に練習する内容を決めていました。本当に時間がない中で、空き時間もうまく利用し、効率的に準備をしてくれたと思います。たくさん悩んで

いまですが、グループをうまくまとめました。素晴らしい成長で、褒めてあげたいです。生徒たちみんなの手で作った体育祭。全員で協力した応援合戦やみんなで描いた一つの巨大パネル、先生たちも協力してくれて、あふれる笑顔から楽しんでいことが伝わってきました。もちろん勝ち負けはあるけれど、グループを越えて「みんなお疲れさま」という雰囲気があったように感じました。学校が一つになった瞬間で、この達成感や満足感はきっと一生の思い出になると思います。

制約が多い中、生徒たちは本当によくやってくれました。こんな状況でも新しいやり方で体育祭を成功させることができました。のは、生徒たち一人一人が成長したからです。この頑張りには新たな礎となり、次の100年につながると思います。



100周年体育祭担当
辰野 裕康さん



HAPPY BIRTHDAY

おめでとう はじめてのバースデー

10月に満1歳になる子どもたちを紹介します。



10.10 藤谷 陽菜ちゃん 内子13
いたずら大好きで、いつも汗びっしり。お買い物も大好きです♡



10.23 山田 佑心くん 石畳9
なんでもお口に入れちゃうぞ！
いっぱい食べてモリモリになるぞ。



10.21 松本 莉穂ちゃん 平野
愛嬌たっぷり♡ にいに大好き！
今日も元気パワー全開☆



10.16 鷹野 友愛ちゃん 田中
いたずらが大好きです。みんなににこにこ笑顔を振りまきます。

INSTAGRAM みんなが見つけた／内子のいいところ「うちコト」

内子町の「いいね」と「つながり」が増えるよう、インスタグラム「うちコト」では、フォトコンテストを実施中です。今回は8月の月間賞の受賞作品を紹介します。



guchibouさん
表情は見えないけれど、川遊びで夏を楽しめるうれしさが伝わる一枚。



uchikobareさん
雲が蒸気に見えて、今にも走りだしそう！



t.fukuocaさん
真夏の通り雨の後にかかった虹。くっきりと見えてとってもきれい。



10月の月間賞の賞品
みそぎ米プレミアム(稲木米) 5*
今秋から販売を始める「みそぎ米」。皆さんに食べてもらうことで、田んぼが連なる里山の景観を守ることにつながれど願っています。どうぞご賞味ください。

見るだけでも楽しめるので、ぜひ皆さんも「うちコト」をフォローしてみてください。

uchikoto_official

QRコードをスキャンすると簡単にアカウントを見られます。



監修 内子町食生活改善推進協議会



山田千壽子さん
＝祝谷＝

●材料(4人分)

- ゆで大豆 100g
- 乾燥ひじき 10g
- いりこ 10g
- ニンジン 1/4本
- 酢 50ml
- すりごま 大さじ2
- 砂糖 大さじ1
- しょうゆ 大さじ1/2

●作り方

- ①乾燥ひじきは水で戻し、水気をきる。ニンジンも千切りにする。
- ②鍋に湯を沸かし①を入れ、ニンジンが柔らかくなるまでゆでる。
- ③ざるに上げて湯をきる。
- ④ボウルに③とゆで大豆、いりこを入れ、Aの調味料を加えて混ぜ合わせて完成。



季節の一皿
SPECIAL DISH

「ひじきと大豆の常備菜」



みんなのひろば

みんなであつないでリレーエッセイ

FROM ME TO YOU



「愛猫に教えられたこと」

松本 丈弘さん(49)
＝鵜川＝

今までの人生を振り返ると、生まれた時からずっと私のそばには猫がいました。猫

がいたのが当たり前の生活で、家族みんなが猫好きです。現在は3匹と暮らしています。その中に7歳の茶トラのハナがいます。今まで飼っていた猫の中で一番懐いており、私のストーカー状態でした。そんなハナが今年の5月1日、魔が差したのか玄関のドアの隙間から外に出てしまいました。完全に室内飼いだっため、外の世界に驚きパニックで家に戻れなくなってしまいました。探してもどこにもいません。——。ちょうど3カ月が経ち、諦めが少してきたころ家に帰ってきました。見つかった時は涙が出ました。体重は以前の半分くらいになり、筋力なども衰え、壮絶な日々を送ったのだと思います。今は調子を少しずつ取り戻しています。

当たり前のようにいつもいたハナがいなくなってしまうのは、飼い主の不注意ではありませぬ。「そんなことは起きないだろう」が起きてしまう。——。いなくなった時、もつと今以上にかわいがって遊んでおけばよかったと、いろいろなことを思いました。日常において場面は違いますが、「あの時にああしてあげば」ということがあると思います。後悔しないよう、行動を起こす前にそれが正しいか再確認しなければならぬと、今回の出来事でハナに教えられたような気がしました。これからも家族みんながかわいがり、猫と共に生きていこうと思います。

▼次は、武田保幸さん＝本村＝にお願いします。

Q 広報クイズ

「広報うちこ」10月号を読んで、①～⑤番の丸印をひらがな・カタカナでうめてください。小さい「っ」「ゅ」や、「が」などの濁音も一文字とします。「●」の文字を①番から順につなぐと、ある言葉になります。どんな言葉でしょう。

- ①上芳我邸でハゼノキや木蠟の歴史を学びながら、「●○○○」のストールを作ってみませんか
- ②まだ食べられるのに捨ててしまう「○○○○●○」を減らそう
- ③今月の季節の一皿は、ひじきと大豆の「○○●○○○」
- ④長年の清掃美化活動に感謝して、富長「○○○○●○」の会と小田分校に表彰状
- ⑤うれしさと懐かしさがあふれる日。令和3年内子町「○○○●○○」のご案内

応募方法：

ハガキに答え、氏名、住所、年齢を書いて送ってください(1人1通まで)。正解者の中から抽選で10人に図書カード(500円)をプレゼントします。宛て先：〒795-0392 内子町役場 総務課 広報・広聴係 締め切り：10月31日(消印有効) 当選者発表：「広報うちこ」12月号

● 8月号当選者の皆さん

答え「みずてっぼう」 正解数35

- 本田 亜由さん (内子19第1)
- 和田 洋子さん (内子20)
- 岡本 富子さん (護国)
- 竹本 涼花さん (富中)
- 松下ヤス子さん (鳥越)
- 藏本マスマさん (東沖)
- 増田 寿満さん (柿原)
- 井門 恵子さん (田ノ口)
- 上岡貴和子さん (中通り)
- 宇田 厚子さん (松山市)

世界には深刻な飢餓や栄養不足で苦しむ人たちがたくさんいます。その一方で日本では、まだ食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」が年間約610万ト発生しています。これは国民一人が毎日、



SAVE THE EARTH

くらしのエコロジー

買いすぎず、使いきる「食品ロス」を減らそう

茶わん一杯分の食品を捨てていることになりません。もったいないと思いませんか。食品ロスの削減には食品を「買いすぎない」「使いきる」ことが大切です。無駄な買い物を減らし、購入した食品を期限までに使いきることで家計にも地球にもやさしい暮らしにつながります。次のポイントを家庭に取り入れ、できることから実践してみましょう。

- 賞味期限 おいしく食べられる期限
- 消費期限 過ぎたら食べない方がよい期限
- 特売や安売りに惑わされず、必要なものだけ買う
- すぐ消費するものは、期限が近いものを買う
- 早く使うものや古いものは手前に置く
- 買った日や期限を記載する
- 使う分だけ小分けして、冷蔵・冷凍保存する

【問い合わせ】
環境政策室
☎0893(44)6159

VOICE まちの声

農業散布は周囲への配慮を忘れずに

農繁期になると「飛んできた農薬が洗濯物にかかって困る」などの苦情が多く寄せられます。

住宅地のそばで農薬を使用するときは、事前に周辺住民の皆さんに知らせましょう。風の弱い日や周囲への影

響の少ない時間帯を選ぶなど、近所に迷惑が掛からないよう、十分に配慮して行ってください。

【問い合わせ】
農業委員会
☎0893(44)2113

地域への思いを荷台に乗せて——

立川軽トラ市実行委員会

毎月第2日曜日、立川地区の成川商店前では、地元の新鮮野菜などが並ぶ軽トラ市が開かれます。7年目を迎え、毎回40～50人の客が訪れているそうです。

発起人の成川幸三さんは「ここは利便性もいいし、荷台に載せたまま販売する軽トラ市なら気軽に始められる。地域のためになればと思い、仲間呼び掛け」と振り返ります。代表の西谷義久さんも「年配の人たちが作った野菜を販売している。生きがいにつながり、少しでも元気になればうれしい。自分たちもお客さんと地域の人の交流が生まれて、やりがいを感じている。楽しいですよ」とにっこり。

小規模ながら格安の商品や地元で獲れた鮎の塩焼きなどが人気で、約8割が町外客です。成川さんは「地域の魅力を知ってもらいたい機会になっている。『継続は力なり』を信じて、負担のない範囲で頑張りたい」と話します。最後に2人は「秋は地域特産の栗も出品される。商品の安さと人の温かさが売りなので、ぜひ一度足を運んでほしい。新規の出店者も待ってます」と笑顔で呼び掛けました。



▲軽トラ市ののぼりを手に笑顔を見せる西谷さん(左)と成川さん
◀採れたての野菜や手作りの漬物などが、軽トラの荷台いっぱいには並べられる



TOWN'S STAR

内子町の人☆キラリ

ハロウィンの起源になった「サウィン祭」

10月31日はアイルランド人にとって重要な日です。古代のアイルランドでは、この日に作物の収穫と冬の始まりを祝う「サウィン祭」が開かれていました。現世と死後の世界がつながり、先祖の霊や悪霊が私たちの世界に来ると信じられていました。今でもその風習が残っていて、先祖の霊を家に迎えるために窓にろうそくを灯し、食事を用意するところもあります。家の外は悪霊がうろつくと考えられていて、外出したい人は悪霊に人間だと気付かれないように怖い格好をして出掛けます。

ハロウィンと似ていると思いませんか。ほとんどの人がハロウィンはアメリカが発祥だと思われていますが、実はアイルランドです。ア

メリカに伝わった時に子ども向けの祭りに変わりました。先祖をもてなす食事はお菓子をもらう行為に変わり、悪霊を追い払うために怖い衣装を着ることは仮装に変わりました。お化けの形をしたカボチャの明かりは元々はカブをくりぬいたものでした。

アメリカには取り入れられなかった風習があります。それはたき火と花火です。アイルランドでは大きなたき火に人々が集い、一緒に祝います。そして、悪霊を追い払うために花火をします。

8月に友人と花火を楽しもうと出かけた場所は、残念ながら花火禁止でした。まだそのときの花火が家にあるので、ハロウィンにしようと思います。



FROM AROUND THE WORLD

HELLO!!!

外国語指導助手
ピーター・コール

Peter Cole



青少年海外派遣事業研修レポートVOL.3

今回はドイツで研修する環境保全の内容をご紹介します。第6回派遣生の池田幸子さんに、海外派遣で学んだことが、その後の人生にどのような影響を与えたかなどについて聞きました。

エコがいっぱいの環境先進国で学ぼう

ドイツは世界有数の環境先進国です。ローテンブルク市でも至る所で環境に配慮した取り組みを目にすることができます。

研修ではゴミ処理場や下水処理場、農場に設置されている大規模な太陽光発電装置の見学などをします。下水処理場では、処理の過程で発生するメタンガスを利用して発電する方法などを学びます。各家庭での徹底したごみの分別やスーパーで必ずエコバックを使うこと、飲み物の空き容器の再利用を促進するデポジット制度など、生活に身近な取り組みも見ていきます。



1_ゴミ処理場の内部を見学する派遣生 2_自然豊かなタウバー溪谷を散策 3_空き瓶などは回収する装置に入れて、再利用する 4_お気に入りのエコバックで仲良く買い物

研修生の声 /



第6回派遣生
池田 幸子さん

研修に参加して、新たな世界に一步踏み出せばいろいろなことが見えるんだという、「知る面白さと大切さ」を知りました。「感謝を社会に恩返しする」という今の私の思いにも強くつながっています。

最初は国際交流に興味があって参加しましたが、派遣前に行われる研修の中で、内子町が「エコロジータウン内子」を掲げて、環境に配慮した町づくりをしていることを知りました。派遣中はホームステイ先や研修で、ドイツの環境に配慮した暮らしを体験することができました。私はそれらの経験を通じて、環境問題と国際問題に興味を持つようになります。学生時代には「世界水フォーラム」に参加しました。内閣府の主催する「世界青年の船」では、いろいろな国の仲間と世界を旅しながら「持続可能な地球社会」について議論しました。

思春期の私にとって「環境問題」や「国際問題」について語ることや、周りと違うことに興味を持つことは、勇気のいることでした。でも「人と違って私のやってきたことを信じる」「いい経験をさせてもらった恩を返したい」ということを貫いてこれたのは、海外派遣を通して感謝している人や場がたくさんあったからだと思います。「私の人生は恩送りだ」と感謝の気持ちを力に変え続け、挑戦することを楽しんでできました。

今は「既にある未来の可能性を実現する」という任務の元、必ず来る未来をみんなにとってよりよいものに、より面白いものにしていく仕事をしています。手掛ける企画は「知る面白さと大切さ」を基本に調査し、未来の社会につなげています。

「世界青年の船」に参加しました。内閣府の主催する「世界青年の船」では、いろいろな国の仲間と世界を旅しながら「持続可能な地球社会」について議論しました。

●「ファミ読マラソン終了」
子どもも大人も挑戦する読書マラソン「ファミ読マラソン」を内子、五十崎、小田の3館で行いました。
260人(うち小学生199人、中学生22人、高校生5人、大人18人)が参加し、137人(うち小学生92人、中学生8人、高校生1人、大人18人)が完走しました。多くの皆さんの挑戦、ありがとうございました。

●10月企画展のご案内
《読書の秋》
▽「ツペラツペラ絵本の世界PART1」(しかけカードで楽しむ)
おはなし会
▽土曜日・午後2時
10月3日 ゆりかご
10日 むしこまど
(英語の日)
17日 むしこまど
24日 どんぐり会
▽文学講座
▽10月10日(土) 午前10時
▽内容 「女性作家とおとたち」
▽講師 村山洋子さん

図書館
へ
行こう

内子町図書情報館
〒791-3301
内子町内子3427番地
☎ 0893(44)4198
FAX 0893(44)4167
☞ https://www.town.uchiko.ehime.jp/
開館時間：
午前9時30分～午後6時
休館日：
月曜日・月末整理日

新着図書紹介 その他の新着情報はホームページをご覧ください。

♣一般図書



日本製 三浦春馬／著
祭りを支えるねぶた師の技や鎌倉彫の老舗・博古堂など、残し伝えたい「日本製」の文化や伝統、産業を三浦春馬と巡る



純喫茶パオーン 椰月美智子／著
創業約50年の「純喫茶パオーン」。その店主の孫である「ぼく」が、今までに出会った不思議な事件と温かな日々を描く



ラクしてエコする直裁ちかんたんECOバッグ 高橋ひとみ／編集
ECOバッグを気軽にハンドメイドしてみよう。きんちゃくトートやレジかごトートなど、真っすぐ切って縫うだけの、簡単な作り方を紹介

♥児童図書



怪奇漢方桃印2 廣嶋玲子／作
「恋がかなう薬はありますか？」日本全国どこにでも、不思議な漢方屋の桃さんが現れ、どんな悩みもズバツと解決



おばけになりたいなす 岩神愛／作
ナスが苦手なゆいちゃんに「むらさきおばけなんてたべないもん」と言われ、ショックを受けたナスは、本当にお化けになろうとするが……



どうしてしんがたコロナになるの? WILLLこども知育研究所／編著
人間の体の中に忍び込んで、悪さをするコロナ。うつらない、うつさないためには? 未知の感染症を理解し、予防策を身に付けられる絵本



再会を喜び合おう

- 新成人の皆さんの新たな門出を祝福して「内子町成人式」を開きます。ぜひご出席ください。
- 日時 令和3年1月10日(日) 午後2時～(午後1時～受付)
- 場所 共生館
- 対象 平成12年4月2日～13年4月1日生まれの人
- 申込方法 電話・FAXまたはメールでお申し込みください

【申込・問い合わせ】
内子町教育委員会(内子分庁内)
自治・学習課 生涯学習係
☎0893(44)2114
FAX0893(44)6137
✉gakusyujichi-s@town.uchiko.
ehime.jp

い。その際、氏名、生年月日、現住所、電話番号が必要です。
※感染症拡大防止のため、参加条件がいくつかあります。案内文書と内子町のホームページでご確認ください。
● 申込期限 11月27日(金)
※受付時間は、平日の午前8時30分～午後5時15分です。

○うれしさと懐かしさがあふれる日 「令和3年内子町成人式」のご案内

- 南予地域9市町で進めている体験型修学旅行の受入研修会を開きます。都市部の小学生から高校生までの受け入れに興味のある人はぜひ、ご参加ください。
- 日時 10月22日(木) 午後6時～8時
- 場所 内子自治センター
- 講師 藤澤安良さん(株体験)

教育企画)
● 応募期限 10月15日(木)
※2年度のモニターツアーで体験民泊を受け入れる予定の人は、必ずご参加ください。
【申込・問い合わせ】
町並・地域振興課 グリーンツーリズム係
☎0893(44)2118

○修学旅行の児童生徒を受け入れてみませんか

- 感染症などの知識を持ち、適切な予防・治療を受けさせること
- 繁殖制限に努めること
- 所有者を明らかにすること
- 犬を放し飼いにしないこと
- 猫は室内飼いに努めること
- 散歩中のフンは持ち帰ること
- ※犬・猫を捨てるのは犯罪です。

【申込・問い合わせ】
保健福祉課 福祉庶務係
☎0893(44)6154

- 《飼い主の義務と心掛け》
動物の習性を正しく理解し、責任と愛情をもって、一生面倒を見ること
- 感染症などの知識を持ち、適切な予防・治療を受けさせること
- 繁殖制限に努めること
- 所有者を明らかにすること
- 犬を放し飼いにしないこと
- 猫は室内飼いに努めること
- 散歩中のフンは持ち帰ること
- ※犬・猫を捨てるのは犯罪です。

無責任な餌やりは指導の対象です。餌を与えるのなら責任を持って室内で飼いましょう。
《費用負担0で野良猫を避妊》
地域猫などの繁殖を制限するため、(愛媛県獣医師会が対策支援事業を行っています。)
● 対象 生後6カ月以上の雌の野良猫。県内で150頭まで
● 避妊手術費用 無料
● 申込期限 10月30日(金)
【申込・問い合わせ】

○「飼い主の義務と心掛け7カ条」 守って人も動物も快適に



- 募集内容/必要資格など
- ▽保健師 1人程度
- ▽調理師 2人程度
- 申込期限 10月26日(月)
- 採用時期 3年4月1日～
- 《1次試験》
- ▽期日 12月6日(日)
- ▽場所 内子町民会館
- ▽内容 専門試験、適正検査、作文試験など

※試験の詳細は11月9日までに申込者に通知します。
※応募の資格や方法の詳細は、総務課にある応募要項またはホームページをご覧ください。
【問い合わせ】
総務課 人事・給与係
〒795-10392
内子町平岡甲168番地
☎0893(44)6150

○保健師・調理師の正職員を募集します

人権コラム*幸せへの道

私たちが部落差別をなくします

ある人権学習会で小・中学生、高校生、青年が部落問題について学んだ成果を発表していました。「人間が作った差別であれば必ずなくせるはず、私たちが差別をなくします」と決意を述べる姿が輝いて、頼もしく見えました。

部落差別は「人々の中にある賤視感^{せんしかん}やケガレ感を基盤として江戸時代に確立され、さらに元禄期(17世紀半ば)以降に強化されていきました。明治時代に太政官布告(解放令)が出され制度的に解消されたにも関わらず、現代においても残っている差別」(参考資料:『指導に役立つ「同和问题学習基礎資料」』、愛媛県教育委員会人権教育課発行)です。その際に、被差別の立場にあった人々が暮らしていたとされる場所・土地を被差別部落と称しています。

平成30年度に内子町で行った「人権問題に関する町民意識調査」では、結婚や身元調査、職場などで部落差別を受けた町民がいることが明

らかにになりました。私たちの周りに苦しんでいる人々がいることを理解し、早期に差別を無くすことが求められています。

今、内子町では平成28年に制定された「部落差別解消推進法」に基づき、部落差別を解消するための教育や啓発を進めています。大事なことは、私たち一人一人が研修会などを通して差別の本質を理解し、差別をしない、させない、許さない立場の当事者として、差別のない町にすることです。

自治会などの「地域ぐるみ人権・同和教育学習会」や、五十崎自治センターで開かれる「あけぼの人権学習会」などに参加して、一緒に部落差別をなくしていきましょう。(学習会の詳細は各自治センターだよりでお知らせします。)

【問い合わせ】
内子町教育委員会 自治・学習課 生涯学習係
☎0893(44)2114

※賤視感一見下すこと

ご存じですか、「年金生活者支援給付金制度」



年金に給付金を加えて支給

昨年10月、消費税率引き上げ分を活用した「年金生活者支援給付金」(以下、給付金)が始まりました。所得額などが一定額以下の年金受給者の生活を支援するため、年金に給付金を上乗せして支給する制度です。

- Q: どんな人が対象となりますか
A: 給付金には「老齢年金生活者支援給付金」「補足的な老齢年金生活者支援給付金」「障害年金生活者支援給付金・遺族年金生活者支援給付金」の3種類があります。それぞれ支給要件が異なるので、詳しくはお問い合わせください。
- Q: 給付金が受け取れるのは1回だけですか。また、手続きは毎年必要ですか
A: 恒久的な制度なので、支給要件を満たしている限り、継続して受け取ることができます。

手続きについては、給付金を受給中で引き続き要件を満たす場合は、翌年度以降は原則不要です。ただし、支給要件を満たさなくなった後、再び給付金を受けようとする場合は、改めて認定請求の手続きが必要です。

- Q: 給付金はいつから、どのように支給されますか
A: 原則、請求した翌月分から支給され、年金と同じ偶数月の同じ日に給付金として振り込まれます。
- 【問い合わせ】
○松山西年金事務所
☎089(925)5105
○住民課 国民年金係
☎0893(44)6152

募集

昔ながらの地元の味を一緒につないでほしい

「台所を継ぐ」プロジェクトに協力してくれる、料理が好きな80歳以上の人を募集中です。家庭料理や郷土料理を次の世代に残したいと考えている人がいたら、ぜひご協力ください。

昔からの味と、食にまつわる手仕事を整理し、次の世代に伝える企画です。石畳地区の料理人「寿喜多」と地域おこし協力隊の小山田さんが、協力者取材し冊子または本にまとめます。

●応募方法 10月30日(金)までに電話でご連絡ください。【応募・問い合わせ】町並・地域振興課 グリーンツーリズム係 ☎0893(44)2118

心に残る風景を募集中 「にっぽん縦断こころ旅」

NHK-BSプレミアムの番組「にっぽん縦断こころ旅」では、俳優の火野正平さんが皆さんの

お知らせ

今年は早めに予約しよう インフルエンザ予防接種

インフルエンザの予防接種にかかる費用の一部を助成していただきます。希望する人は事前に医療機関で予約してください。

- 対象 町内の1歳児〜中学3年生
●自己負担額 1回1000円
●助成期間 10月1日(木)〜3年1月9日(土)
●接種場所 町内の医療機関
《高齢者》
●対象 65歳以上の人、60〜64

心に残っている風景を訪ねて、自転車旅をします。旅のルートは、番組に届いた手紙で決まります。あなたの思い出の場所や風景を投稿して、火野さんにってもらいませんか。

●応募方法 ①住所②氏名③電話番号④性別⑤年齢⑥思い出の場所・風景⑦場所につわるエピソードを明記し、はがき・手紙またはFAXでご応募ください。▽はがき・手紙の場合 〒150-8001

「こころ旅」係(住所不要) FAX 03(3465)1327 ※番組ホームページからも応募できます。●応募期限 11月2日(月)【問い合わせ】NHKふれあいセンター ☎0570(066)066



自転車各地を旅する火野さん

歳で一定の障がいがある人 ●自己負担額 1000円 ●助成期間 10月1日(木)〜12月31日(木)

●接種場所 県内の医療機関 【問い合わせ】内子町保健センター ☎0893(44)6155

10月17〜23日は「薬と健康の週間」

薬を安全で効果的に使用するために、次のことに注意しましょう。●使用前に添付文書をよく読む ●用法、用量を守る ●剤形にあった服用方法を守る ●薬の飲み合わせに注意する

催し

秋の空の中へ—— 標高1562mの尾根歩き



この秋一番の絶景と開放感を楽しもう

秋の笠取山は、四国の山々とブナ林の紅葉が360度に広がる絶景が見られます。「秋の空散策」は比較的なだらかな尾根を歩くので、子どもから年配まで気軽に参加できます。この機会にぜひ、山歩きをしませんか。●開催日 10月17日(土)、18日(日)、24日(土) ●集合場所/時間 ▼JR内子駅、内子分庁/午前8時 ▼道の駅「小田の郷せせらぎ」/午前8時25分

●子どもの手の届かない場所や、直射日光の当たらない涼しい場所で保管する ●古い薬は使用しない ●「お薬手帳」を活用し、かかりつけ薬剤師を持つ

【問い合わせ】愛媛県薬務衛生課 薬事係 ☎089(912)2391

高速度道路 夜間通行止めのお知らせ

■松山自動車道 《いよ西条IC》 ●規制日時 ▼10月19日(月)〜23日(金) 午後8時〜翌朝6時 ※26・27日は予備日です。 ●迂回路 国道11号

【問い合わせ】西日本高速道路(株)四国支社 愛媛高速道路事務所 ☎089(905)0181

楽しくておいしい体験、今なら半額で何度でも——

ログ立山の石窯ピザ焼き体験や、天忠の宿ひろこの雲海朝食など、県内の農山漁村体験メニューの半額キャンペーンを実施

●定員 各日10人 ●参加費 1500円 ●持参物 弁当、雨具、タオル ※笹原を歩くので、肌を出さない服装、運動靴で参加してください。寒さへの対策も必要です。

あなたの創業を支援、応援「創業塾セミナー(内子町)」 創業準備から販売まで、創業を希望する人に必要な知識が無料で学べます。

●開催日 10月29日/11月5・12・19・26日(全5回) ※毎週木曜、午後6時30分 ●場所 内子自治センター ●講師 東矢憲二さん(四国ビジネス・コンサルタント代表) ●対象 内子町で創業を予定または検討している人。創業して間もない人や創業に興味がある人も受講できます。 ●定員 20人程度 ●申込期限 10月26日(月) 【申込・問い合わせ】町並・地域振興課 商工観光班 ☎0893(44)2118

しています。14市町・8メニューが参加中。期間内であれば、何度でも利用可能です。この機会に、家族や友人と愛媛の魅力を体感してみませんか。 ※利用は要予約。詳しくは県のホームページをご覧ください

【申込・問い合わせ】(株)県観光物産協会 ☎089(961)4500



雲海と朝採り卵に感動

労働保険料の納付期限 忘れずに納めましょう

11月2日(月)は労働保険料(労災保険・雇用保険)の第2期分の納付期限です。事業主の皆さんには10月20日頃に納付書を送付しますので、最寄りの金融機関で納付してください。

【問い合わせ】愛媛県労働局労働保険徴収室 ☎089(935)5202

上芳我邸「櫨染ストールづくり」

木蠟の原料・ハゼノキを使った草木染め「櫨染」のワークショップを開きます。古くから富と幸せをもたらすと愛されてきた色を、ハゼノキや木蠟の歴史を学びながら染め出してみませんか。

- 日時 11月8日(日)午前10時~正午
●場所 木蠟資料館上芳我邸
●参加費 綿ストール4,000円、ウールストール5,000円(どちらかを選択)
●定員 6人

【申込・問い合わせ】八日市・護国町並保存センター ☎0893(44)5212 ※火曜定休



「赤い羽根共同募金」 ご協力をお願いします



10月1日から全国一斉に共同募金運動が始まります。内子町では500万円の募金目標額を定め、町内の保育園や学校、各自治センターなどに募金箱を設置するほか、ボーイスカウトの子どもたちが街頭募金を呼び掛けます。自治会長、地区社協会長を通じた戸別募金などもありますので、皆さんのご協力をお願いします。

昨年度、内子町では521万円の募金が集まり、愛媛県共同募金会へ送りました。愛媛県全体では2億3,600万円の募金額となりました。募金は障害者福祉施設、児童福祉施設、小規模作業所、社会福祉施設などに配分されたほか、一昨年の7月豪雨災害で被災した各市町への災害支援金として活用されました。

内子町社会福祉協議会には418万円が配分されました。配分金の用途は、共同募金配分委員会での下記のとおり決定したのでお知らせします。

コロナ禍こそ必要な傾聴の技術を学ぶ 傾聴ボランティア養成講座

基礎技術とともに、離れた距離での傾聴の仕方などが学べます。人に寄り添う知識と技術を身に付けられる傾聴ボランティアを体験してみませんか。

- 日時 11月12日(木)、26日(木)
午後1時30分～4時30分
- 場所 内子自治センター
- 講師 福積千佳子さん(ライフキャリア制作所)
- 参加費 無料(定員20人)
- 申込方法 当社協へ電話でお申し込みください。



いろいろと役立つ傾聴を学ぶ

令和2年度赤い羽根共同募金・配分金の使い道

- 1自治会配分金事業 [204万円] …… 23自治会に下記のとおり配分
- 2地区社協配分金事業 [156万円] …… 7つの社協分会に活動助成として配分
- 3児童青少年・ボランティア活動助成事業 [3万円] …… ボーイスカウトへ助成
- 4啓発・歳末助け合い事業など [55万円] …… 「広報うちこ」掲載料、75歳以上の一人暮らし高齢者世帯に餅を配布し見守り活動を行う事業の材料費など

自治会名	配分額(円)	主な内容
八日市	100,000	扇風機、ガス炊飯器
畑中	100,000	掃除機、横断幕、のぼり
廿日市	100,000	座椅子
城廻	100,000	プロジェクター
長田	100,000	テント
立川	94,050	清掃作業用ブロワ
河内	71,060	清掃作業用ブロワ
和田	100,000	丸太ベンチ、折り畳み椅子
程内	88,000	掃除機、ストーブ他
大瀬	95,000	発電機
五十崎竜王	86,212	鋼製消火器格納箱
神南	82,650	座卓テーブル

自治会名	配分額(円)	主な内容
平岡	87,849	座卓テーブル
東沖	45,600	配食サービス120食分
柿原	100,000	食器乾燥機他
御祓	100,000	折り畳み机
上川	35,000	配食サービス70食分
中川	100,000	エアコン
立石	100,000	クロッキー道具他
寺村	99,250	エアコン
平野	75,355	掃除機他
吉野川	88,320	防犯灯
臼杵	96,900	防災仕様カーテン
合計	2,045,246円	(23自治会)

お知らせ

うちこ福祉館の行事案内

《わいわい喫茶》

- 日時 11月2日(月)
午後1時～4時30分
- 場所 うちこ福祉館
- 参加費 無料
- 【問い合わせ】
うちこ福祉館
☎0893(44)3410

行政相談所開設と 行政相談週間のお知らせ

10月19～25日は「行政相談週間」です。行政相談の内容を解決することや実現を目指すことは、行政の制度や運営の改善にも生かされています。
内子町では毎月、総務大臣から委嘱された相談委員の行政相談所を開設し、苦情や意見・要望を受け付けています。相談日は『広報うちこ』の相談日・救急当番医のコーナーに掲載しているのをご確認ください。相談は無料で秘密は厳守されます。気軽にご利用ください。

【問い合わせ】

総務課 行政係
☎0893(44)6150

10月3日から793円 最低賃金を改正します

愛媛労働局は県内全ての労働者に適用される「愛媛県最低賃金」を改正し、10月3日から施行しました。この決定により、10月3日以降分の賃金は、1時間あたり793円以上にしなければなりません。詳しくはお問い合わせください。

【問い合わせ】

愛媛労働局賃金室
☎089(935)5205

ネット機能で簡単通報 「なんよNet119」

「なんよNet119」は、音声での119番通報が困難な人がスマートフォンなどを利用して通報できるシステムです。事前登録が必要ですが登録説明会もありますので、ぜひご利用ください。

●対象者

聴覚や音声、言語機能などに障がいのある人で、内子町に住所がある、または

通勤・通学をしている人

《登録説明会》

- 日時 11月18日(水)
- 申込方法 詳しくは内子町のホームページでご確認ください。

☎https://www.townuchi.coehne.jp/

【問い合わせ】

消防本部 警防課
☎0893(24)0119

「本当に1回だけ？」 ネット販売への注意喚起

スマートフォンを使った通信販売で、1回だけのつもりで健康食品を購入したら、実は定期購入だった——というトラブルが起きています。

2回目の商品が届いたときに初めて気付く人が多いようです。解約するまで契約が続きますので、注文ボタンを押す前には、次のようなことを確認しましょう。

《確認するポイント》

- 本場に「お試し」だけか
- 「〇〇コース」など、契約が続く名前になっていないか
- 「解約条件」がどうなっているか
- 消費生活で困ることが起こったら、迷わずにご相談ください。

【問い合わせ】

内子町消費生活相談窓口
☎0893(44)5026

本人も家族も支援 「ひきこもり相談」

- 対象者 18歳以上のひきこもり本人またはその家族
- 実施日時 平日 午前8時30分～午後5時15分
- 費用 無料

●申込方法 来所の相談は事前に電話予約が必要です。電話相談は随時受け付けます。

※精神保健に関する相談もできるので、お問い合わせください。

【問い合わせ】

八幡浜保健所 精神保健係
☎0894(22)4111

ハロウィンジャンボ5億円
(1等3億円・前後賞各1億円合わせて)

ハロウィンジャンボミニ1千万円
(1等1千万円)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

各1枚 300円

9月23日※2種類同時発売!

発売期間 9/23(水)～10/20(火)

公益財団法人愛媛県市町振興協会

●たかさご ●うぶごえ —♣男子 ♡女子— ●おくやみ

- 曾根 航也
- 矢野 琴音
- 篠原 孝 (香緒里) 松尾
- 水田 蓮乃 (竜一 麻世) 柿原
- 富岡 楽良 (由紀子) 岡第2
- 上中 梨央 (裕二 香織) 小田下

- 藤本 正市 (85) 内子19第2
- 中川タツコ (92) 宿茂
- 中山 亀夫 (77) 護国
- 寄岡キミエ (94) 岡第1
- 櫻井フキエ (91) 村前
- 山崎コツル (95) 本町1
- 福岡 修二 (68) 大久保
- 土居 尚 (85) 上村
- 久保 忠信 (88) 本町
- 曾根 和子 (82) 平野
- 沼井 慶三 (77) 平野
- 沼井 進 (92) 東沖
- 大西カメヨ (96) 北田
- 岩崎 俊夫 (90) 立石
- 玉井ハヤ子 (89) 立石
- 大谷久二江 (97) 林慶

●まちの人口 (2年9月1日現在/()内は前月比)

- 人口 16,132人 (△24)
- 男性 7,755人 (△14)
- 女性 8,377人 (△10)
- 世帯数 7,177戸 (±0)

●まごころ銀行 皆様から寄付をいただきました。心からお礼申し上げます。 内子町社会福祉協議会

- 森岡 敏様 (内子22)
- 西岡トヨ子様 (大久保)
- 西野 征爾様 (平野)
- 沼井 照子様 (平野)
- 上野 博様 (小田下)
- 橋本 数江様 (松山市)

11月の相談日・救急当番医

●年金1日相談
日時：12(木)の午前10時~午後3時30分
場所：内子自治センター ※相談は予約制です。
予約・問い合わせ：松山西年金事務所 ☎089(925)5110

●行政相談
日時：10(火)の午前9時30分~正午
場所：町民会館/内子分庁/小田自治センター
問い合わせ：総務課 ☎0893(44)6150

●心配ごと相談
日時：10(火)の午前9時30分~正午
場所：内子分庁
※心配ごと相談は予約制です。前日までに電話でお申し込みください。
問い合わせ：内子町社会福祉協議会 ☎0893(44)3820

●人権相談
日時：10(火)の午前9時30分~正午
場所：内子町林業センター
問い合わせ：住民課 ☎0893(44)6152

●小児在宅当番医

日	医院名	電話番号
1(日)	おおむら小児科(内子町)	0893(44)7117
3(火)	守口小児科(八幡浜市)	0894(24)7770
8(日)	大洲ななほクリニック	0893(25)7710
15(日)	山下小児科(西予市)	0894(62)6801
22(日)	ごとう小児科(大洲市)	0893(23)0510
23(月)	八幡浜一次救急休日・夜間診療所	0894(24)1199
29(日)	ごうお小児科医院(大洲市)	0893(24)3936

※けがなどの外科治療は、救急病院をご利用ください。

●大洲喜多休日夜間急患センター ☎0893(23)1156

診療科目	診療時間
内科	○昼間：午前9時~午後6時(日曜・祝日) ○夜間：午後8時~11時(平日、土・日曜日)

※当センターの診療は応急措置のみです。休日や夜間に急に具合が悪くなった、中学生以上の人が受診できます。

●救急病院

曜日	病院名	電話番号
月・火	市立大洲病院	0893(24)2151
水	日中：加戸病院	0893(44)5500
	夜間：喜多医師会病院	0893(25)0535
木	日中：大洲記念病院	0893(25)2022
	夜間：市立八幡浜総合病院	0894(22)3211
金・土	大洲中央病院	0893(24)4551
	日中：大洲中央病院	0893(24)4551
日	夜間：市立八幡浜総合病院	0894(22)3211

日々の生活を工夫して、糖尿病を予防しよう

糖尿病になる一步手前の状態を、糖尿病予備群といいます。動脈硬化が進行しやすく、心臓病や脳卒中になる危険もあります。そのままではいずれ糖尿病になってしまうので、すぐに生活習慣を改善する必要があります。糖尿病になってから治療するよりも、進行を防ぐことの方が簡単です。次のことに気を付けながら、食事の取り方や運動不足を見直し、糖尿病を予防しましょう。

- 《食事の取り方を工夫しよう》
- よく噛んで、ゆっくり食べる
 - 満腹になるまで食べる癖をなくす
 - 朝食を抜かない
 - 寝る2~3時間前からは食べない
 - 野菜は食事の最初に多めに食べる
 - フライや天ぷらを控える
 - きのこやこんにゃく、海藻を料理に取り入れる
 - 味付けを薄めにする
 - アルコールやジュースを控える

《日常生活の中で体を動かす機会を見つけよう》

- 車で5分程度の距離は歩く
- 階段を使って上り下りする
- 家事を積極的にする

糖尿病予防教室で最初の一步

医師や運動指導士などに、糖尿病を予防するための方法を4回にわたって学びます。参加を希望する人は内子町保健センターまでご連絡ください。

- 日時
▷11月6日(金)午後6時30分~
▷11月18日(水)午前10時~
▷11月20日(金)午後1時30分~
▷12月1日(火)午前10時~
- 場所 内子保健センター
- 対象 町内の糖尿病予備群の人
- 参加費 無料(先着20人)
- 申込期限 10月30日(金)

11月の健康カレンダー

●成人保健
新型コロナウイルス感染症対策のため、受診は予約した人に限ります。受診を希望する人で申し込みがまだの場合は、内子町保健センターまでご連絡ください。※健診は必ず指定した日時にお越しください。

乳がん検診(マンモグラフィ)

日	受付時間	場所
6(金)	午前9時~11時30分	内子保健センター
11(水)	午後1時~3時30分	

特定健診、がん検診(肺がん・胃がん・大腸がん・前立腺がん)、肝炎検診

日	受付時間	場所
17(火)	午前8時~正午	内子保健センター

●母子保健
乳児健康診査

日	受付時間	場所	対象
10(火)	午後1時~1時15分	内子保健センター	令和2年2月・3月生まれ

離乳食教室

日	受付時間	場所	対象
12(木)	午前9時45分~10時	内子保健センター	令和2年5月・6月生まれ

育児相談

日	受付時間	場所	対象
2(月)	午前9時30分~10時30分	小田保健センター	乳幼児
4(水)	午前9時30分~11時	五十崎保健センター	
5(木)		内子保健センター	

2歳Comeかむ教室(むし歯予防教室)

日	受付時間	場所	対象
19(木)	午前9時30分~10時	内子保健センター	平成30年8月・9月生まれ

【問い合わせ】
内子町保健センター
☎0893(44)6155

住人十色

第 134 回

最年長の食改さん。手料理で生まれた つながりが地域で暮らす幸せに――

大原 キシカさん(94) 内子1



◎大原さんの思い出の味は柏餅。年に一度、子どもの日にお母さんが作ってくれて、小さい頃の楽しみだったそう。

94歳の大原キシカさんは「内子町食生活改善推進協議会」の最年長の会員です。同協議会では食を通じて交流するほか、ふるさとの味を後世に残したいと地域に伝わる家庭料理などを本にまとめようとしています。大原さんは「受け継がれるのはいいこと。味と一緒に思い出や昔の人々の営みも伝われば」とほほ笑みます。大原家ではお盆などには家族4世代が集まります。小学生のひ孫からは「きいちゃん」と呼ばれるくらいみんな仲良しで、一緒に料理をするのが一番の楽しみです。大原さんは「ひ孫まで料理好きになったのは私の影響かも。ずっと作り続けた手料理が家族の絆を深めているのかな」とうれしそうです。

大原さんの手料理は地域の人たちのつながりもつくっています。秋祭りに作っていた酒まんじゅうは、お年寄りから子どもまで親しまれる味。「たくさん作ってみんなに振る舞いよったんですよ。『懐かしい』『おいしい』と言って食べてもらうことが喜びだった」とにっこり。「一人暮らしの私を心配して、近所の人たちがお裾分けを持って訪ねてくれたり、話に来てくれたりして優しくしてくれる。ここで暮らす幸せを感じながら年を重ねていきたい」と笑顔で話しました。

編集 幸記

▽先日、初めてウェブ上で広報紙づくりの講師をしました。講演会や会議などで現地に行く必要がないすごさを体験すると同時に、笑わそうとしても全く反応のない恐怖を味わいました。あ、それはいつもか。とにかくすごい時代ですね(裕)

▽体育祭の取材では高校生の笑顔が素敵で、まさに青春でした。実は私の母校で、教室や校庭を見ると当時を思い出します。お世話になった先生にも会い、「頑張れよ」と変わらず応援してくれて、うれしかったな(沖)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

